

子どもの は・な・し

主幹教諭 中村昌子

5月も半ばを過ぎ、木々の緑が若葉色から深い緑へと移り始めました。子どもたちも新学期、新しい学年、新しい学級の試運転期間から、遠足や移動教室を経て、若葉色の時期から少しずつ濃い緑色へと変わりつつあります。生活団活動でも、6年生が張り切ってそのリーダーの役割を果たそうと奮闘中ですが、まだまだこれからひと山もふた山も超えなければならないといったところでしょう。私も各学年の遠足や移動教室に引率させてもらっていますが、そこで見る子どもたちの様子、そこで聞く子どもたちの話が、本当にかわいらしく、少し紹介させていただきます。

□2年生の遠足「所沢航空公園」でのスタンプラリーでのひとこま

生活団ごとに先生を探して、クイズに答えて、暗号の文字を集めるラリーです。私のところは「大泉小の先生漢字クイズ」です。(中：中村 C：2年生)

- C1： ああ、やっと見つけた。中村先生！（始めのグループが来るまで30分位待ちました）
中： じゃあ、漢字クイズです。大泉小学校の先生の中で、「山」のつく先生は…
C2： はい、はい。かんたん、山下先生！
中： では3人探して下さい。
C3： 山田先生！
中： あと一人！（心の声：簡単すぎたかな？）みんなで相談してね。
C4： えーっと、やま、やま、やま…。（おや、意外とでてこない。待つこと5分）
中：（5分後）どうですか。だめ？ では大大ヒント。6年の先生です！
C1： えーっと。あ、分かった！山岡先生！（それって、去年の岩岡先生と混同してる…）
中： わからない？4文字！やま〇〇（口の形を見せました）大大大ヒントだよ！
C2： やまもと？先生？（自信なさげだなあ）
中： 正解！よかった！分からないかと思って心配しちゃった。
C3： ああ、僕の生活団の先生だ！（ええっ！今頃気付いたの?!）

と、まあこんな調子です。毎日会っている先生でも意外と名前をちゃんと覚えていなかったり、近くの学年の先生のごことはよく分かっていたり、おもしろいなあと一人で笑っていました。



□3年生の遠足「日和田山・巾着田」での日和田山山頂でのひとこま

2つの生活団ごとに山頂を目指し、頂上でチェックを受けます。学年の先生のアイデアで頂上で氷砂糖を一粒ずつ配ってあげました。(中：中村 C：3年生)

- C1： ああ、やっと着いた。中村先生！〇〇団、全員そろいました。
中： よく頑張ったね。じゃあ、帰りも頑張れるようにエネルギーをあげましょう。
C2： なんですか！（袋の中からとりだすと）あ、飴ですか？やったあ！うれしい！
中： これは氷砂糖です。5,6年生になると遠泳の時もらうのです。
C3： でも先生、凍ってませんよね？冷たくないし。
C4： 知らないの？氷じゃないよ。氷みたいな形なんだよ！（お、よく知ってる）
C5： ありがとうございます。（すぐ口に入れて）わあ、おいしい！ホントにおいしい！
C6： 先生、これって梅酒つけるとき、入れますよね。僕、おばあちゃんとやりました。（すてき！）
C7： どこで売っているんですか。帰ったらお母さんに買ってもらおう。ほんと、おいしい！
C8： 先生、余ったらどうするんですか。まだたくさんありますよねえ。（めざとい！）
中： お砂糖は腐らないから、またとっておいて次に使えるから大丈夫。（適当なこと言いました。ごめんなさい。）

よほど気に入ってくれたようです。素直でかわいらしい反応、ご家庭でのほほえましいご様子など話をきいたり、想像をしたり、楽しい時間を過ごすことができました。

子どもたちとの他愛のないおしゃべりの中で、子どもが日々どんなことを考えて生活をしているのか垣間見ることができます。こちらが少し力を抜いて向き合っていると次から次へと色々なことを話してくれます。きっと伝えたいこと、話したいことがたくさんあるのでしょう。

話すことで心が通じ合い、互いの理解も深まります。何かいやなことがあっても、それを解消できることもあるでしょう。忙しい毎日の中ですが、どうぞ力を抜いて子どものはなしに耳を傾けてあげてください。子どものはなしってほんとに素敵です。